―生涯スポーツの新拠点―
所沢市民体育館が生まれ変わります

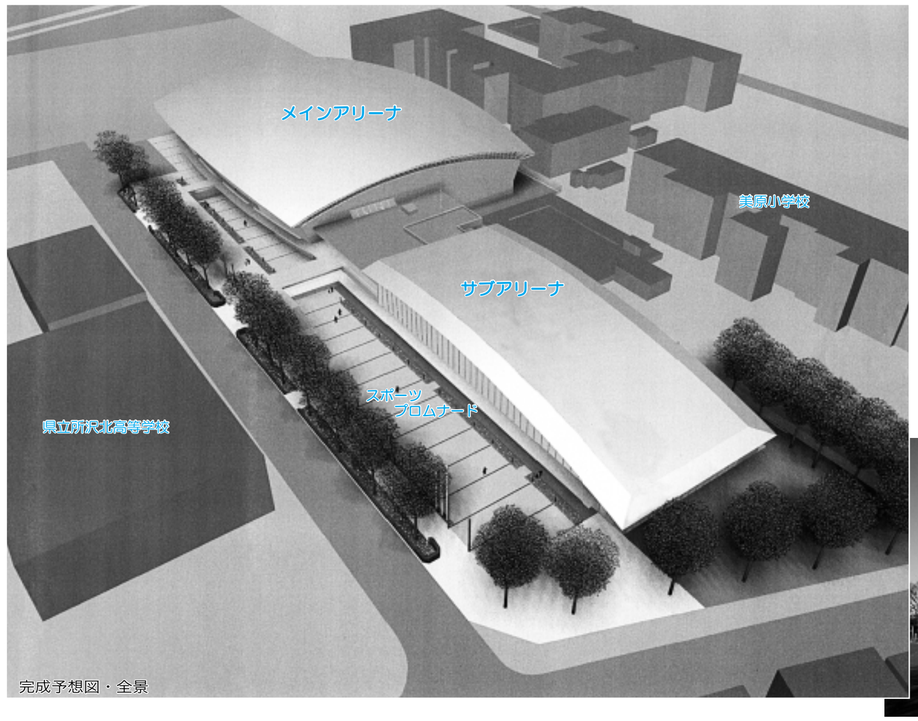
高齢社会が進む今、市民の皆さんの生涯スポーツ・レクリエーションに対する関心や意識は年々高まり、屋内体育施設の利用はさらに多くなると予想されます。

このため、体育施設の整備や学校体育施設の開放を進めるなど、多様化する市民の皆さんからの要望に対応できる施設の整備・充実に努めていくことが求められています。

こうした中、市民の皆さんに慣れ親しんでいただいた所沢市民体育館が昭和51年の開館以来25年を経過し、老朽化や利用者の増加などにより手狭となってきたため、平成16年3月の完成を目指し改築することになりました。

今回は、新市民体育館の概要をお知らせします。

国体マスコット「コバトン」



完成予想図・全景

いままでの体育館

市長インタビュー

生涯スポーツの推進に積極的に取り組みます

●スポーツ振興についてはどのようなお考えですか。

斎藤市長　市民の皆様からは、スポーツ・レクリエーションへのさまざまな要望が出されています。この要望に対応するため、これまでも屋内施設・屋外施設の整備や小・中学校の体育施設の開放、地区体育館の月曜開館等を行い、さらに、ダイアプランを構成する入間・狭山・飯能各市とのスポーツ施設の相互利用を進めています。

これからも、市民の皆様の健康増進とスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、それぞれの年齢や体力に合わせて「いつでも・どこでも・だれでも」楽しめる、施設の整備・充実に取り組んでいきます。また、指導者の確保・育成や情報提供を支援する環境整備など、生涯スポーツの推進にも積極的に取り組んでいきます。

●新体育館ではどのようなスポーツイベントが可能ですか。

市　長　平成16年10月に開催される、第59回国民体育大会「彩の国まごころ国体」の成年男女９人制バレーボールの会場としてこの新体育館を使用することが決まっています。市としましては、この大会の成功に向け、現在実行委員会を組織し努力しているところです。

完成後には、バスケットボールやバレーボールをはじめとする各種国際大会が可能な施設となりますので、各種競技団体とも協議・検討し、さまざまなスポーツイベントを開催していきたいと思っています。

私としては、まちづくりの原点は33万所沢市民が健康に暮らすことだと考えています。今後も、「いきいきと学び、人・文化を育むまち所沢」の実現に向けて一層努力を重ねていきますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

新市民体育館は…

新市民体育館は、子どもから高齢者、障害のある方などまで、すべての方が公平・安全に利用でき、市民が主役となり、日常の市民利用に十分対応できるような施設を目指しています。平成13年度から3か年の継続事業で改築工事を進めていきます。

この体育館は、メインアリーナとサブアリーナを併せ持つ施設になります。また、体育館として全国でも例のない木造の天井をもつ一方、防災や地域のコミュニティ機能を有し、国民体育大会や国際大会にも対応できるように設計しています。

なお、完成後の平成16年には、第59回国民体育大会の成年男女９人制バレーボールの会場として使用することが決まっています。

新体育館の基本理念

新体育館は、次の５つの基本理念から設計しています。

①市民が主役となる施設
②アマチュアからアスリートまで利用者が満足できる施設
③すべての人が公平に安全に利用できる施設
④環境に配慮した施設
⑤災害時に対応できる施設

各施設の概要

■メインアリーナ
日常、市民の皆さんが快適に利用できることを基本としますが、国際大会をはじめ、さまざまなイベントにも対応できる施設です。

バレーボールコート4面、バスケットボールコート1面、バドミントン・インディアカコート6面が利用可能です。

観客席は112席（固定席106席・車いす席6席）です。

■スポーツ情報ギャラリー
体育館を訪れた方が、スポーツに関するさまざまな情報を入手し、スポーツを通じた交流を支援する場所です。スポーツプロムナード（遊歩道）に面しています。

完成予想図・メインアリーナ

■サブアリーナ
市民の日常的なスポーツ活動の中心施設です。また、国民体育大会や国際大会等の大きな大会では、練習会場としての利用を想定しています。

バレーボールコート2面、バスケットボールコート1面、バドミントン・インディアカコート6面が利用可能です。

観覧席は4,308席（固定席2,352席・可動席1,920席・車いす席36席）です。

■メインアリーナ
日常、市民の皆さんが快適に利用できることを基本としますが、国際大会をはじめ、さまざまなイベントにも対応できる施設です。

バレーボールコート4面、バスケットボールコート3面、バドミントン・インディアカコート16面、卓球台36台が利用可能です。

観覧席は4,308席（固定席2,352席・可動席1,920席・車いす席36席）です。

■サブアリーナ
市民の日常的なスポーツ活動の中心施設です。また、国民体育大会や国際大会等の大きな大会では、練習会場としての利用を想定しています。

バレーボールコート2面、バスケットボールコート1面、バドミントン・インディアカコート6面が利用可能です。

観覧席は112席（固定席106席・車いす席6席）です。

■スポーツ情報ギャラリー
体育館を訪れた方が、スポーツに関するさまざまな情報を入手し、スポーツを通じた交流を支援する場所です。スポーツプロムナード（遊歩道）に面しています。

■トレーニング室
スポーツプロムナードの入口に面して配置しています。快適にトレーニングができるよう緑地が見える大きな開口をとっています。

■多目的体育室
多目的空間としての利用のほか、卓球室（卓球台6台）として利用できます。

■幼児体育室
プレールーム型体育室としてトレーニング室に隣接しています。ガラス越しにトレーニング室と視覚的な一体感を持たせ、安全管理を行います。

■キッズコーナー
託児室型体育室として両アリーナに隣接しています。このため、アリーナからガラス越しに見通す事ができ、保護者は安心してスポーツを行えます。

■多目的会議室
多目的会議室は、可動間仕切りを使用することにより、分割しての利用ができます。

また、ダンス等の軽運動にも利用できるよう、床にはスポーツフロアのフローリングを採用し、ダンスバーや鏡等の設置を予定しています。

■エントランスホール
体育館の中心部に位置し、管理事務室、ロッカー、掲示板等を設置します。管理事務室受付には、車いすでも利用しやすい高さの幅広いカウンターを設置します。南側には、ラウンジを設け、スポーツの合間の交流・休息の場とします。

■駐車場
総合運動場サッカー場跡地に、330台が駐車可能な立体駐車場を建設します。その他には、管理棟身障者用駐車場（2台）、体育館管理用駐車場（6台）、体育館身障者用駐車場（8台）、大型バス駐車場（7台）を予定しています。

＊　＊　＊

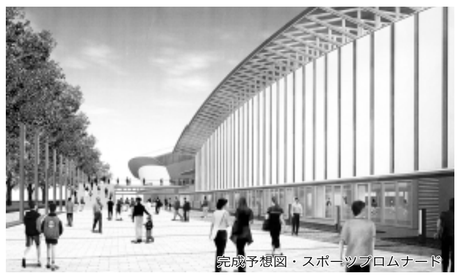
新市民体育館の改築工事に伴い、総合運動場の野球場は、体育館の建築工事のため当分の間1面だけでの利用となります。また、ナイターでの利用はできなくなります。

サッカー場については、新体育館の駐車場になるため、閉鎖となります。

このため市では、その代替施設の整備を行っていきます。また、地区体育館、市内小・中学校、高校、大学等や近隣自治体の公共体育館に協力を求めています。

工事期間中、市民の皆さんには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ　市役所6階・教育委員会体育課（☎998・9248）



完成予想図・スポーツプロムナード

新市民体育館の概要

構　造	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造、一部木造
階　数	地上３階・地下１階
建築面積	10,952.85㎡
延床面積	14,721.82㎡
●１階	9,334.86㎡
●２階	3,710.39㎡
●３階	942.73㎡
●地下	733.84㎡
建物の高さ	21.45m

期待しています新体育館

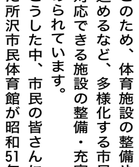
三河　一幸さん（向陽町在住）

私はふだん仕事が忙しいので、スポーツなどで体を動かすことがありません。ですから、新しい体育館ができたら子どもといっしょにぜひ利用してみたいです。

また、新体育館で行われる多彩なイベントにも期待しています。

所沢には、体育館や運動場がたくさんあってスポーツをするには、とても良いところだと思っています。これからも、子どもから大人まで、だれもが低料金で利用できる身近な施設を造ってほしいですね。

これからも利用します



田中　捷美（かつみ）さん（有楽町在住）

趣味でバレーボールをやっていますので、練習や試合で市民体育館や学校の体育館をよく利用しています。

市民体育館が新しくなることは、とてもうれしく、完成が待ち遠しいです。また、国体のバレーボールが行われると聞き、こちらも楽しみにしています。

体育館などのスポーツ施設が増えれば、もっと練習や試合をする機会ができるのですが…。体が動くうちは、いつまでもスポーツを続けていたいですからね。

2004年 第59回国民体育大会
彩の国まごころ国体
とどけ この夢 この歓声